

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード：

英文科目名称： Japanese Constitutional Law

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1～2年	2単位(2-0)	大学共通科目
担当教員			
David Ulvog			
授業形態：講義	ナンバリング：GLS244		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理の知識を得てそれを理解した上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することができる。そうした技能をもって、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになる態度をもつことが目標である。
授業の概要	まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に学びます。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ</p> <p>【事前学習】 最初講義の準備のため、日本国憲法を読んでください。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第2回 日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？）</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第3回 人権総論（人権の分類、新しい人権、外国人の人権）</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第4回 子供の権利</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第5回 法の下での平等</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第6回 精神的自由①内心の自由</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第7回 ②表現の自由</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第8回 中間試験</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第9回 ③検閲の禁止</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第10回 経済的自由（財産権保障の構造他）</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第11回 社会権（自由権とはどう違うのか？）や その他の人権</p> <p>【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p>

	<p>第12回 統治総論</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第13回 国会および内閣</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第14回 裁判所</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第15回 平和主義、総まとめ</p> <p>【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。</p> <p>第16回 定期試験 定期試験</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p>
テキスト	『スタート憲法入門第2版補訂版』吉田仁美[編](成文堂)
参考書	講義にて紹介
評価方法	中間・期末試験の結果、授業への参加度、授業態度などから総合的に評価する。 定期試験55% 授業態度25% 受講者の発表20%
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) — : 試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【D P 1～4との関連】</p> <p>○ 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>.. 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>○ 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>○ 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。毎回授業のため、予習・復習してください。
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 Ulvog研究室
課題に対するフィードバック方法	試験やクイズの後、講義にてフィードバックする。

講義科目名称： 体育一般

授業コード：

英文科目名称： ・

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2年	2単位(1-1)	大学共通科目
担当教員			
音野 太志			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：SSS275		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p><b>【テーマ】</b> 現代社会に生きる人々や自分自身の「からだの内面（こころ）」について認識し、よりよいライフスタイルを構築できる知識と態度を養うこと。 また、生活の質を高める1つの取り組みとして、スポーツの重要性や楽しみ方、心身への効果を実践を通して身に付ける事。</p> <p><b>【到達目標】</b> 「健康に生きるとはどのようなことか」を理解できる 「運動」の大切さと楽しさを理解できる 「健康」に注意を向け、より良いライフスタイルを送るための選択ができる 自分の意見を伝えることだけではなく、相手の意見を受け入れる事を学び、2wayでのコミュニケーションが理解できる。</p>
授業の概要	<p>授業は、アクティブラーニングの手法を用いて進めていく。 前半は、グループ毎にテーマを決め、現代の健康問題に関し調査し、模擬授業として発表を行い、各テーマに対しての学びを深める。 後半は、健康問題解決へ向けた取り組みとして、皆で楽しめる健康運動やスポーツの内容をグループ毎に考えてもらい、講義の中で実践し、その効果について検証を行う。また、生涯スポーツの体験も行う。</p>
授業計画	<p>第1回      コースオリエンテーション：健康とは？ 「健康」とは何か？「健康である」とはどういう状態か？ 上記の内容について、講義を行い自分自身が目指す「健康」について考える。 また、自分たちの周りにどのような問題が存在するのかを調べる。</p> <p>第2回      <b>【事前学習】</b> 健康について考えてくる <b>【事後学習】</b> グループワークの内容に関する調査 テーマの決定：グループワーク 事前学習で調べてきた様々な健康問題を、カテゴリ別に分け、自分が興味のあるカテゴリを選ぶ。 選んだカテゴリが同じメンバーの中から数人のグループを作り、グループ毎に最終的なテーマの決定と、調査する内容の方向性について話し合う。</p> <p>第3回      事前学習 グループワークのテーマに関して調査する  事後学習 決定したテーマに関する情報を集める グループワーク①：テーマに関する調査 選んだテーマの内容に関して、スマホ、インターネット、書物等を用いて調査を行い、グループ内で発表する内容についてのディスカッションを行う。 発表する内容の大枠を決定し、さらに深く調査するための役割（パート）を決める。</p> <p>第4回      事前学習 テーマに沿った内容に注意を向ける  事後学習 資料作成に向けた準備 グループワーク②：資料の作成 グループが選んだテーマ、個人のパートを元に必要な情報を収集し、発表に必要な資料を作成する。</p> <p>第5回      事前学習 資料作成に必要な情報の収集  事後学習 情報の収集と、自分の役割について考える 各グループによる発表 グループ毎に、調査してきた内容に関しての発表（模擬講義形式）を行う。各人に評価シートを配布し、発表内容に関して分かりやすさや質問への対応、正確な情報であるかどうか、他にも数項目に関して評価を実施する。</p> <p>第6回      事前学習 発表の準備  事後学習 各グループの発表に関して復習する 各グループによる発表・発表に対する総評</p>

前回に引き続き、グループの発表を実施する。  
発表毎に、それぞれのテーマに関する補足説明を行い、全てのグループ発表の終了後に、総評と、いくつかのテーマに関してより深く説明を実施する。

事前学習  
発表の準備

第7回

事後学習  
発表した内容に関する振り返り  
コミュニケーショントレーニング

ノンバーバルコミュニケーション、1way、2wayコミュニケーション、その他にも様々なコミュニケーショントレーニングを行い、その大切さを知る。  
同時に、現在自分たちがどのようなコミュニケーションを取っているのか？その結果どのような事が起きているか？等、今までの自分自身の対人関係やコミュニケーションの取り方について振り返りを行う。

事前学習  
どのようなコミュニケーション方法があるか調べてくる

第8回

事後学習  
講義で行なった内容から、自身のことについての振り返りを行う。  
運動が心身に及ぼす効果についての調査と運動プログラムの決定

運動と、運動が心身に及ぼす効果についての講義を行う。  
いくつかのグループに分け、テーマに沿った運動プログラムについて話し合い、グループとして実践する内容を決定する。

事前学習  
運動について調べてくる

第9回

事後学習  
運動プログラムについて考える

グループ発表：体力増進を目的とした運動  
各テーマに沿った運動プログラムの発表を行い、実技として実施する。  
担当グループは、何故このプログラムを実施したかの説明を行い、他学生は、グループの実践内容に関しての評価を行う。

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ

第10回

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える

グループ発表：仲間との繋がりを高める運動  
各テーマに沿った運動プログラムの発表を行い、実技として実施する。  
担当グループは、何故このプログラムを実施したかの説明を行い、他学生は、グループの実践内容に関しての評価を行う。

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ

第11回

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える  
グループ発表：生活習慣病の予防を目的とした運動

各テーマに沿った運動プログラムの発表を行い、実技として実施する。  
担当グループは、何故このプログラムを実施したかの説明を行い、他学生は、グループの実践内容に関しての評価を行う。

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ

第12回

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える  
グループ発表：基礎的能力を高めることを目的とした運動

各テーマに沿った運動プログラムの発表を行い、実技として実施する。  
担当グループは、何故このプログラムを実施したかの説明を行い、他学生は、グループの実践内容に関しての評価を行う。

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ

第13回

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える  
ニュースポーツ体験：ドッジビー

生涯スポーツ体験として、いくつかの種目を体験する。  
また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。

事前学習  
健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ

事後学習  
ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える

	<p>第14回 ニュースポーツ体験：インディアカ 生涯スポーツ体験として、いくつかの種目を体験する。 また、実施した種目がどのような運動になるのか、それぞれが考える心身への効果や利点についての振り返りを行う。</p> <p>事前学習 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ</p> <p>事後学習 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える</p> <p>第15回 スポーツ体験：各グループ考案による クラスの全員が積極的に参加でき、楽しめるスポーツを、皆で考え実践する。 また、実践した後の感想としてどうだったかの振り返りを行う。</p> <p>事前学習 健康に留意し、運動できる状態で授業にのぞむ</p> <p>事後学習 ストレッチ等を充分に行い、次の授業に備える</p> <p>第16回 総括（テスト） 講義のまとめとしての試験を行う。</p> <p>事前学習 テスト対策</p> <p>事後学習 授業全体の振り返り</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p>
テキスト	特になし
参考書	九州大学健康研究センター編『健康と運動の科学』 大修館書店他
評価方法	授業への参加度（60％）、グループ発表に対する相互評価（30％）、レポート（10％）にて評価を行う。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) —：試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>.. 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>.. 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>.. 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習と事後学習を行い、準備をして講義に参加すること。</li> <li>・体育館で運動を行う場合は、運動に適した服装で参加すること。体育館シューズの必須。</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了後に質問を受け付けます。</li> <li>・taishiotono@gmail.comにて質問を受け付けることも可能です。</li> </ul>
課題に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で解答、フィードバックを行います。</li> </ul>

講義科目名称： 中国語 I

授業コード：

英文科目名称： Chinese I

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA110		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級中国語の習得。</p> <p>【到達目標】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を修得する。また、基本的な文法事項を理解（36個の文型）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができるレベルを目標とする。</p>
授業の概要	<p>中国語のピン音（発音記号）の概要を説明するとともに、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、会話練習、作文練習を行う。</p> <p>予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。 復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。</p>
授業計画	<p>第1回 授業概要の説明。中国語の発音（1）。 授業の進め方、評価の基準についての説明。中国語の子音・母音の発音の仕方。 【事前学習】 特になし。 【事後学習】 CDを聞きながら、発音練習を多く行う。</p> <p>第2回 中国語の発音（2）。中国語の声調（1）。 有気音と無気音の発音の仕方。巻舌音の発音の仕方等。中国語の声調のコントロールについての説明。 【事前学習】 特になし。 【事後学習】 CDを聞きながら、声調コントロールの練習を多く行う。</p> <p>第3回 第1課：中国語の声調（2）。形容詞述語文（1）。疑問文。 中国語の声調コントロールの練習。いろいろな形容詞述語文。“？”を用いた疑問文。 【事前学習】 第1課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第4回 第2課：形容詞述語文（2）。基数。 いろいろな形容詞述語文。数字の数え方（1～10）。第2課の会話。 【事前学習】 第2課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～2課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第5回 第2課：練習。 入れ替え練習。数字の数え方（1～31）。日付表現の練習。 【事前学習】 第2課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。 【事後学習】 第1～2課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第6回 第3課：肯定文と否定文。 肯定文と否定文の作り方。“？”を用いた疑問文。第3課の会話。 【事前学習】 第3課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～3課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第7回 第3課：練習。 入れ替え練習。月・年の言い方。 【事前学習】 第3課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。 【事後学習】 第1～3課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第8回 第4課：自己紹介の仕方など。動詞「是」。 自己紹介の仕方、相手の名前の訊き方。動詞「是」の使い方。第4課の会話。 【事前学習】 第4課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～4課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第9回 第4課：練習。 入れ替え練習。国籍の言い方。 【事前学習】 第4課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。 【事後学習】 第1～4課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第10回 第5課：疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」。中間試験。 いろいろな疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」の使い方。第5課の会話。中間試験。 【事前学習】 第5課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～5課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第11回 第5課：中間試験解説。練習。 中間試験解説。入れ替え練習。「ちょっと～します。」「あなたはどこへ行きますか？」。 【事前学習】 第4課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。第1～5課の復習。 【事後学習】 第1～5課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第12回 第6課：名詞述語文。時間副詞。誘い方。 いろいろな名詞述語文。「夜あなたは何をしますか？」「～するのはどうですか？」。第6課の会話。 【事前学習】 第6課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～6課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第13回 第6課：練習。</p>

	<p>入れ替え練習。「明日は何曜日ですか?」「午後彼の家に行き会います。」。</p> <p>【事前学習】第6課の文法事項に目を通し、練習をやる。</p> <p>【事後学習】第1～6課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第14回 第7課:「動詞+目的語」構造。「動詞+介詞+目的語」構造。文末の「了」。</p> <p>「動詞+目的語」「動詞+介詞+目的語」構造の用いられ方。語気助詞「了」の文法的意味。第7課の会話。</p> <p>【事前学習】第7課の文法事項に目を通して置く。</p> <p>【事後学習】第1～7課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第15回 第7課:練習。</p> <p>入れ替え練習。「(どこどこ)で(何々を)します。」「あなたは(兄弟姉妹)がいますか?」</p> <p>【事前学習】第7課の文法事項に目を通し、練習をやる。</p> <p>【事後学習】第1～7課の文法と意味を再確認し多く音読練習を行う。</p> <p>第16回 期末試験。</p> <p>第1～7課の総復習。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { }</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 { }</p> <p>3) ICTの活用 { }</p> <p>4) 初年次教育 { }</p>
テキスト	『漢語会話301句』康玉華、来思平、北京言語大学出版社。
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験、期末試験80%。授業参加度・発表20%。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上:到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満:到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満:到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満:到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満:到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) — :試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>.. 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>.. 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>.. 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	相互(学生⇄教師, 学生⇄学生)の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 毎週水曜日 3限目 武村研究室
課題に対するフィードバック方法	授業中逐次フィードバックします。

講義科目名称： 中国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： ChineseⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA111		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級中国語の習得。</p> <p>【到達目標】 中国語の発音（声調コントロールを含む）の正確な発声方法を習得する。基本的な文法事項を理解（56個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と平易な日常会話ができるレベルを目標とする。</p>
授業の概要	<p>個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習も継続しつつ、十分な時間をかけ各課を学習する。各課の学習においては、基本的な文法事項の学習に続き、その応用として、簡単な日常会話の練習と作文練習を行う。</p> <p>予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。 復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。</p>
授業計画	<p>第1回 授業概要の説明。中国語Ⅰの復習。 授業の進め方、評価の基準についての説明。中国語Ⅰの復習。 【事前学習】第1～7課の復習。 【事後学習】第1～7課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第2回 第8課：疑問詞を用いた疑問文。時間副詞。 「今何時ですか?」「あなたは何時に～しますか?」。第8課の会話。 【事前学習】第8課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～8課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第3回 第8課：練習。 入れ替え練習。時刻の言い方。「何時に～します。」 【事前学習】第8課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～8課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第4回 第9課：介詞「在」。連動文。 「あなたはどこに住んでいますか?」。連動文の特徴。第9課の会話。 【事前学習】第9課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～9課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第5回 第9課：練習。 入れ替え練習。「私は(どこどこに)(～しに)行きます。」 【事前学習】第9課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～9課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第6回 第10課：所在の尋ね方、道の尋ね方。第10課の会話。 動詞「在」の使い方。副詞「怎?」の使い方など。 【事前学習】第10課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～10課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第7回 第10課：練習。 入れ替え練習。「～はどこにありますか?」「～はどう行きますか?」 【事前学習】第10課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～10課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第8回 第11課：能願動詞(1)。 「要」の用いられ方。第11課の会話。 【事前学習】第11課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～11課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第9回 第11課：練習。 入れ替え練習。「何が買いたいですか?」「何が飲みたいですか?」 【事前学習】第11課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～11課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第10回 第12課：能願動詞(2)。動詞の重ね型。中間試験。 「想」の用いられ方。「我看看○○」等。第12課の会話。中間試験。 【事前学習】第12課の文法事項に目を通しておく。第1～11課の総復習。 【事後学習】第1～12課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第11回 中間試験の解説。第12課：練習。 入れ替え練習。「私は～がしたいです。」「ちょっと試してもいいですか?」 【事前学習】第12課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～12課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第12回 第13課：動詞「給」。介詞「到」。能願動詞(3)。 「あなたに～をあげます。」「(どこどこ)まであといくつのバス停がありますか?」。第13課の会話。 【事前学習】第12課の文法事項に目を通し、練習をやる。 【事後学習】第1～12課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第13回 第13課：練習。</p>



	<p>入れ替え練習。「あなたに5元あげます。」「コーラ2杯買います。」「わたしは～ができます。」。</p> <p>【事前学習】第13課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。 【事後学習】第1～13課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第14課：能願動詞（4）。動詞「？」。 「可以」「能」の用いられ方。頼み事をする表現。第14課の会話。</p> <p>【事前学習】第14課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～14課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第14課：練習。 入れ替え練習。「ここで両替できますか？」「この漢字を書いて下さい。」 【事前学習】第14課の文法事項に目を通し、練習をやってみる。 【事後学習】第1～14課の文法、意味を再確認し、音読練習を多く行う。</p> <p>第16回 期末試験。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { }</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 { }</p> <p>3) ICTの活用 { }</p> <p>4) 初年次教育 { }</p>
テキスト	『漢語会話301句』康玉華、来思平、北京言語大学出版社。
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験20%、期末試験80%。授業参加度・発表20%。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>.. 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>.. 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>.. 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 (仮) 毎週**曜日 **限目 武村研究室
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
金 永秀			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA114		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>テーマ：ハングルの初歩</p> <p>到達目標：ハングルの読み書きの基礎を身につけ、簡単な単語を駆使して会話ができるようになる。</p>
授業の概要	<p>ハングルの基礎から、簡単な会話と読み書きの習得を目的とする。実際に使われている音声に慣れる。日常会話で最もよく使われる基本的な単語を使用し、実際の例文を使って反復練習をおこなう。あいさつ、感情表現、自己紹介、旅行に必要な会話等で必要最低限の基礎力の習得ができる。実際の場面を想定した練習を、できるだけ多くおこなって、レベルに応じた会話、読み書ができるようになる。</p>
授業計画	<p>第1回 コースガイダンス、韓国と日本、沖縄について。 ガイダンス。 ハングルの言語的構造と日本語を含むアルタイ語系との関係性について学ぶ。 テキスト3ページ、ハングルの母音の学習 【事前学習】初回につき無し 【事後学習】母音を読み書きが出来るようになる。(必ずテキスト付属CDを聞いて学習する)</p> <p>第2回 ハングルの読み方と書き方。(1)母音 ハングルの母音の学習の復習 【事前学習】母音の反復による修得 発音と書き順を間違えないようになる。(必ずテキスト付属CDを聞いて学習する) 【事後学習】母音の読み書きが完全に出来るようになる。発音と書き順を間違えないようになる。 (必ずテキスト付属CDを聞いて学習する)</p> <p>第3回 ハングルの読み方と書き方。(2)子音 ハングルの子音の学習を行なう。 【事前学習】テキスト4ページ～9ページ。子音を書く練習をしてくる。(必ずテキスト付属CDを聞いて学習する) 【事後学習】テキスト12ページ～19ページの復習。母音と子音の読み書きが出来るようになる。 (必ずテキスト付属CDを聞いて復習する)</p> <p>第4回 ハングルの読み方と書き方。(3)パッチムについて。 ハングルの子音の復習とともに、パッチムと複合母音について学ぶ。 【事前学習】テキスト24ページ～31ページを読んでくる。 【事後学習】テキスト22ページ～24ページまでの複合母音の読み書き出来るようになる。母音と子音で日本の発音をハングルでかけるようにする。テキスト28～29ページの地下鉄の路線図を実際に読んでくる。</p> <p>第5回 自己紹介と関連文法 ハングルの子音及びパッチムと複合母音の復習。 自己紹介と挨拶を学ぶ。挨拶に必要な文法の解説をおこなう。 一人称代名詞の単数と複数 助詞 は 平常文：です。 疑問文：ですか 等の表現を学ぶ。 【事前学習】テキスト40ページのハングル文が読めるように練習する。 【事後学習】テキスト40ページの意味を知った上で、繰り返し書く練習をする。</p> <p>第6回 挨拶と自己紹介(国、職業) 挨拶と自己紹介に必要な世界の主要国名と、職業についての単語を記憶し、それらの単語を使用して練習をおこなう。 【事前学習】テキスト47ページ記載されている主要国と職業の韓国語読みを練習して来る。 【事後学習】この単元の単語と表現をきれいに記憶する迄練習する。</p> <p>第7回 平常文と疑問文 「これ、それ、あれ」の指示代名詞の学習と疑問文、そして日常生活のなかの単語の更なる学習。 単語を増やして会話の練習 【事前学習】テキスト48ページの文章を読んでくる。 【事後学習】テキストの意味と書き方を反復練習し記憶する。</p> <p>第8回 平常文と疑問文(2) 前回の復習と文法 「ここ、そこ、あそこ、どこ」の使用法の修得 接続詞「～も」の用法 否定形 「～ではありません」の用法を学ぶ。 【事前学習】テキスト50ページ～51ページを確認 【事後学習】テキスト50ページ～51ページの構文に様々な単語を使って表現を増やしていく。</p> <p>第9回 生活用品と存在詞 部屋の中にある用品をハングルで修得し、これまでの平常文と疑問文を使って練習する。 例) カバン、時計、服、ベッド等 【事前学習】テキスト53ページの日常的な単語を読めるようにする。</p>

第10回	<p>【事後学習】テキスト53ページの日常的な単語を記憶し、読み書きができるようにする。</p> <p>家族の紹介          前回の復習、家族の紹介と疑問文の練習「この、あの、その、どの」、「お方」をおこなう。          助詞「の」の用法を学ぶ。新出語を使っての練習          【事前学習】テキスト56ページの文章を読めるように練習する。          【事後学習】テキスト58～59ページの文法事項を復習する。</p>
第11回	<p>親族の呼称について          韓国の親戚関係の呼称を覚えて、これまでの文法と表現を使って練習。          【事前学習】テキスト61ページに出てくる親族の韓国語の呼び方をハングルで発音出来るようにする。          【事後学習】テキスト62～23ページの練習で単語の練習を行なう。</p>
第12回	<p>どこにありますか。          前回の復習と練習          新しい文法の修得          例) 助詞 ～が、～に、～と ある(いる)、ない(いない)          【事前学習】テキスト64ページの文章をハングルで読めるように練習をする。          【事後学習】講義で修得した語句を66～67ページに出てくる文法を使って復習する。</p>
第13回	<p>韓国の歌の表現          前回の復習と練習          位置関係の接続詞修得と練習(例 上下、左右、東西南北等)をつかって、文法の応用と練習          【事前学習】 テキスト69ページに出てくる位置関係の接続詞の読みができるように練習して          くる。          【事後学習】 どのような文脈でも位置関係を表現出来るようにする。</p>
第14回	<p>韓国の映画の表現          街に実際にある建物や施設の名称を覚えて、前回までの文法と単語を併せて練習をおこなう。          例 デパート、ホテル、銀行 会社等)          【事前学習】テキスト70～71ページの練習問題をしてくる。          【事後学習】これまで修得した様々な単語をつかって位置関係が表現出来るようにする。</p>
第15回	<p>まとめ          総復習と練習によって、一学期間の学習した単語と文法を使って、実際に読み、書きができるようにする。          【事前学習】 これまで出て来た単語の発音と意味を確認して書けるようにする。          【事後学習】 これまで出て来た構文をつかって修得した単語による表現が出来るようになる。</p>
第16回	<p>期末試験          試験によって学習の成果を試す。</p>
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組【学習した単語・表現を使用した反復練習をおこなう】
テキスト	『韓国語を学ぼう』初級(前半)
参考書	民衆 韓日辞典
評価方法	授業態度、授業への参加度も参考にすが、よほどのことがない限り期末テストの結果をもって評価する。 期末試験100%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — : 試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	第二言語を学ぶことにより、他文化への理解度が深まりそれが「グローバル」社会の多様性と文化理解の「教養を育む」ことにもつながる。 【D P 1～4との関連】 2、英語以外の言語話者との「コミュニケーション能力」を身につける。そのことにより、「自己と他者を尊重する心」をもてるようになることにつながる。
履修上の注意	語学は、反復が大切。過去に習った単語・文法を何度も繰り返しつつ、新出の語彙と文法事項を習得して行きます。講義内容の復習を重点的にするために、家庭での復習を充分にすること。特に、ハンガルの発音は日本語にない豊富なものなので読み書きの基本についてはCD等で各自の復習が重要です。確認のため適宜ショートテスト等、読み書きについてのチェックをおこなう。
オフィスアワー	(仮) 毎週水曜日 2限目 金研究室
課題に対するフィードバック方法	講義の最終時間に期末テストの模擬的な問いを出してその解説を行なう。

講義科目名称： 韓国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： KoreanⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
安 昌鉉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA115		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 韓国語で話そう。</p> <p>【到達目標】 会話に必要な言葉や表現や文法等を学び、韓国人とコミュニケーションができる最低限の会話力やヒアリング力を身につける。</p>
授業の概要	韓国語Iの単位取得者、もしくはそれと同等の語学力を持つ学生を対象にする。旅行などで困らない程度の会話力、簡単なハングル文書の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的とする。基本的動詞の現在・過去・未来時制の理解と活用、そして尊敬語及び数詞を用いた会話で暦や金銭の数え方等を習得する。
授業計画	<p>第1回 コースガイダンス 講師の自己紹介をし、授業の進め方と評価方法を説明する。その後、ハングルの誕生の経緯やハングルと日本語の関係（類似性と差異）、発音の仕組み等を学ぶ。</p> <p>第2回 予習：新出語彙（テキスト、72頁）、用言の現在形（74～75頁） 何をしますか（1） 基本表現から始まり、助詞（～を／～に・へ・で）を学ぶ。用言（動詞、形容詞）の現在形を学習する。具体的に語幹による活用変化（丁寧形）や否定形、天気関連の表現等を学び、文型練習を行う。</p> <p>第3回 復習：基本表現（72頁）、用言の活用 予習：用言の活用変化、人体名称（81頁） 何をしますか（2） 前回の復習後、用言の活用練習を行い、基本表現を質問・応答のパターンで練習する。また、人体名称や指示語、疑問詞等を学び、より豊かな表現力を養う。</p> <p>第4回 復習：用言の活用、疑問詞 予習：新出語彙（82頁）、曜日・時間関係の言葉、動詞の尊敬形 どこへ行かれますか（1） 基本表現から始まり、曜日と時間関係の言葉、助詞（～に）を学び、文章の中で練習する。動詞の尊敬形の作り方と基本的変化、特別な尊敬表現の用法を学習する。</p> <p>第5回 復習：基本表現（82頁）、時間の表現、動詞の尊敬形の変化 予習：動作の目的の表現 どこへ行かれますか（2） 前回の復習後、用言の尊敬形の作り方（例外）、動作の目的を表す表現を学ぶ。その後、用言の活用練習を行い、基本表現を質問・応答のパターンで練習する。</p> <p>第6回 復習：動詞の尊敬形の変化 予習：新出語彙（90頁）、動詞の過去形、用言の接続表現 昨日、何をしましたか（1） 基本表現を学び、動詞と指定詞の過去形の作り方と基本的変化を学習する。用言の接続表現（継続、逆接）を学ぶ。</p> <p>第7回 復習：基本表現（90頁）、動詞の過去形の練習、用言の接続 予習：動詞の過去形の丁寧な表現 昨日、何をしましたか（2） 前回の復習と練習を行なった後、用言の接続表現と動詞の過去形、丁寧な表現等を繰り返し練習する。</p> <p>第8回 復習：動詞の過去形の変化、動詞の過去形の丁寧な表現 前半のまとめ 用言の時制や動詞の尊敬表現、用言の接続表現、助詞等を復習し、こうした表現を韓流ドラマやK-POP等の動画で確認する。</p> <p>第9回 予習：新出語彙（100頁）、数詞の読み方 試験はいつですか（1） 数詞（漢数詞、固有数詞）、助数詞を学び、年月日や電話番号、記念日等の読み方、時間に関わる表現等を練習する。</p> <p>第10回 復習：基本表現（100頁）、漢数詞と固有数詞の読み方 予習：助詞（～から、～より） 試験はいつですか（2） 数詞と助数詞を復習した後、時間や場所を表す名詞や代名詞の起点（～から）、名詞や代名詞の比較基準（～より）の表現を学習し、文型練習と活用練習を行う。</p>

	<p>復習：漢数詞と固有数詞の読み方、年月日や電話番号、記念日の読み方 予習：新出語彙（108頁）、時刻の言い方 今、何時ですか（1） 固有数詞を復習し、時刻の言い方や年齢の言い方等の表現を学び、会話に応用してみる。また、時間に関わる表現を繰り返し練習する。</p> <p>復習：基本表現（108頁）、時刻の言い方、時間に関わる表現 予習：助詞（～まで、～から、～で） 今、何時ですか（2） 距離的な限度や範囲、到達点を表す表現（～まで）、場所の起点を表す表現（～から）、手段や道具、材料を表す表現（～で）等を学習し、繰り返し練習する。</p> <p>復習：助詞（～まで、～から、～で）の表現 予習：新出語彙（116頁）、丁寧な表現 いくらですか（1） 基本表現を学び、打ち解けた丁寧な言い方（非格式体）や指定詞の丁寧な表現、人等の対象を表す表現、助数詞を学習する。</p> <p>復習：基本表現（116頁）、丁寧な表現、助数詞 予習：尊敬の補助語幹の変化、用言の否定形 いくらですか（2） 前回の復習と練習を行なった後、尊敬の補助語幹の変化と用言の否定形（口語体）を学び、文型練習や活用練習により、反復練習する。</p> <p>復習：尊敬の補助語幹の変化、用言の否定形 後半のまとめ 数詞と助数詞、時刻の言い方や年齢の言い方、丁寧な表現、助詞等を復習し、こうした表現を韓流ドラマやK-POP等の動画で確認する。</p> <p>第16回 期末テスト 今学期の学習内容の成果をテストする。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="checkbox"/></p>
テキスト	『韓国語を学ぼう』初級（後半）
参考書	民衆 韓日辞典 アプリ：「NAVER Korean Dictionary」「DAUM Dictionary」
評価方法	ショートテスト（2回程度）と、期末テストの結果を主として評価するが、授業態度や授業への参加度も参考に にする。 ショートテスト（10%）＋出席率（30%）＋期末テスト（60%）
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 1との関連性について、同系列の他言語であるハングルを学ぶことによって「自己と他者を尊重し」、日・韓・朝鮮の間で積極的に「相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができる」 3については 言語的な「批判的精神」を養って「グローバル化する社会の課題に向き合える」 4については、英語圏以外の国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	語学は楽しく勉強し、繰り返し復習するのが大事。毎回基本表現の覚えるようにし、ショートテストでチェックする。
オフィスアワー	（仮）授業の前後、メール等も活用
課題に対するフィードバック方法	最終講義において解答と解説を行なう。

講義科目名称： スペイン語 I

授業コード：

英文科目名称： Spanish I

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA118		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級スペイン語の習得。</p> <p>【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際使えるようになる。</p>
授業の概要	<p>スペイン語の文字・発音についての概要を説明するとともに、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。また、挨拶、数の数え方、日時、曜日の言い方等、日常会話で頻出する平易な表現を練習する。</p> <p>予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと</p>
授業計画	<p>第1回 授業の概要説明、第1課：スペイン語の発音と表記法（1）。 授業の進め方、評価の基準等についての説明。 スペイン語を公用語とする国々についての紹介。スペイン語の子音、母音の音声学的特徴、並びに表記法についての説明。 【事前学習】 特になし。 【事後学習】 CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第2回 第1課：スペイン語の発音と表記法（2）について。 注意を要する発音（子音&amp;母音）について、練習を交えながら、具体的な発音方法を説明。スペイン語の表記法に関する説明。簡単な挨拶と基数（1～10）の練習。 【事前学習】 第1課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第3回 第2課：名詞の性・数と定冠詞・不定冠詞（1）。 男性名詞、女性名詞の別。複数形。それら名詞の定冠詞・不定冠詞との結びつき方。 【事前学習】 第2課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～2課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第4回 第2課：名詞の性・数と定冠詞・不定冠詞（2）。 名詞の定冠詞・不定冠詞との結びつき方。hayを用いた表現。第2課Di&amp;#225;logo。 【事前学習】 第2課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～2課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第5回 第3課：人称代名詞。ser動詞、estar動詞。 10種の主格人称代名詞。ser動詞とestar動詞の直説法現在。 【事前学習】 第3課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～3課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第6回 第3課：人称代名詞。ser動詞、estar動詞（2）。 ser動詞とestar動詞を用いた疑問文と否定文。国籍を表す語。第3課Di&amp;#225;logo 【事前学習】 第3課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～3課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第7回 第4課：規則活用動詞（-ar動詞、-er動詞、-ir動詞）（1）。 標記3種の規則動詞の活用変化（直説法現在）。その練習（習得方法）。 【事前学習】 第4課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～4課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第8回 第4課：規則活用動詞（-ar動詞、-er動詞、-ir動詞）（2）。 標記3種の動詞の活用変化の練習。指示形容詞。指示代名詞。第4課Di&amp;#225;logo。 【事前学習】 第4課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～4課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第9回 第5課：不規則動詞（1）、形容詞。 1人称が-goで終わる動詞の直説法現在。形容詞の性・数。 【事前学習】 第5課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～5課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第10回 第5課：不規則動詞（2）、中間試験。 1人称が-goで終わる動詞の活用練習。形容詞の用いられ方。第5課Di&amp;#225;logo。中間テスト。 【事前学習】 第5課の文法事項に目を通しておく。第1～5課の復習をしっかりと行う。 【事後学習】 第1～5課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p>

第11回	第6課：中間試験解説。一般不規則動詞（1）、所有形容詞。 中間試験解説。一般不規則動詞の直説法現在。6種の所有形容詞前置形と男性形・複数形。 【事前学習】第6課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習、語句の書き取り練習を行うこと。中間テストの復習。
第12回	第6課：一般不規則動詞（2）、前置詞a、基数。 不規則動詞の活用練習、前置詞aの用いられ方。数字の数え方（11～20）。第6課Di&#225;logo。 【事前学習】第6課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。
第13回	第7課：1人称単数形だけが不規則活用する動詞。目的格人称代名詞（1） conocer等動詞の活用と練習。直接目的格及び間接目的格人称代名詞（14種）。 【事前学習】第7課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～6課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。
第14回	第7課：その他不規則動詞、目的格人称代名詞の用いられ方（2）。 dar等動詞の活用と練習。直接目的格及び間接目的格人称代名詞の用いられ方。第7課 Di&#225;logo。 【事前学習】第7課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～7課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。
第15回	総復習。 スペイン語の発音・表記法、第1課～第7課の復習。練習問題等。 【事前学習】第1～7課の復習をしっかりと行う。 【事後学習】第1～7課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。
第16回	期末試験。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { } 2) 情報リテラシーに関する科目 { } 3) ICTの活用 { } 4) 初年次教育 { }
テキスト	『基礎から学ぼう！スペイン語 初級』西川喬，朝日出版社。
参考書	西和辞典など。
評価方法	中間試験、期末試験80%。授業の参加度・発表20%。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - : 試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 ・ 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること ○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること ・ 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること ・ 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 毎週水曜日 3限目 武村研究室
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックいたします。

講義科目名称： スペイン語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Spanish II

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA119		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 初級スペイン語の習得。</p> <p>【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しむ。また、基本的な文法を理解・習得し、平易な会話を多く習得する。それらを実際使ってみて、その感覚を蓄積する。</p>
授業の概要	<p>スペイン語Ⅰの復習を行いつつ、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて平易な会話ができる基盤を強固なものにしてゆく。その上で、平易な日常会話ができるよう練習を行う。</p> <p>予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと。</p>
授業計画	<p>第1回 授業概要の説明。スペイン語Ⅰの復習。 授業の進め方、評価の基準についての説明。スペイン語Ⅰの復習。 【事前学習】スペイン語Ⅰの復習。 【事後学習】CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第2回 第8課：語幹母音変化動詞（1）。 語幹母音変化動詞直接法現在の活用。 【事前学習】第8課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～8課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第3回 第8課：語幹母音変化動詞（2）。接続詞que。所有形容詞。 語幹母音変化動詞直接法現在の用いられ方。従属接続詞queと所有形容詞後置形。第8課Dialogo。 【事前学習】第8課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～8課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第4回 第9課：再起動詞と再起代名詞（1）。 再起動詞の活用と再起代名詞との組み合わせ。再起代名詞seを用いた受け身表現。 【事前学習】第9課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～9課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。</p> <p>第5回 第9課：再起動詞と再起代名詞（2）。基数。 再起代名詞seを用いた受け身表現。基数（21～100）。第9課Dialogo。 【事前学習】第9課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～9課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第6回 第10課：過去分詞と現在完了形（1）。 過去分詞の作り方。現在完了形の作り方。 【事前学習】第10課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～10課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第7回 第10課：過去分詞と現在完了形（2）。時刻の表現。 現在完了形の用いられ方。時刻表現の用いられ方。第10課Dialogo。 【事前学習】第10課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～10課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第8回 第11課：直説法点過去（1） 規則動詞の直説法点過去の活用形。 【事前学習】第11課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～11課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第9回 第11課：直説法点過去（2）。無人称表現。日付。 規則動詞の直説法点過去を用いた表現。主語不定の無人称表現。日付を用いた表現。第11課Dialogo。 【事前学習】第11課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】第1～11課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第10回 第12課：不規則動詞の直説法点過去（1）。中間試験。 不規則動詞の直説法点過去の活用形。 【事前学習】第12課の文法事項に目を通しておく。第1～12課の復習をしっかりと行う。 【事後学習】第1～12課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第11回 中間試験解説。第12課：不規則動詞の直説法点過去（2）。 中間試験解説。いろいろな不規則動詞の直説法点過去。動詞gustarを用いた表現。第12課Dialogo。</p>



	<p>【事前学習】 第12課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～12課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習、語句の書き取り練習を行うこと。中間テストの復習。</p> <p>第12回 第13課：規則動詞の直説法線過去（1）。 不規則動詞の直説法線過去の活用形。 【事前学習】 第13課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～13課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第13回 第13課：規則動詞の直説法線過去（2）。曜日の表現。現在分詞。 いろいろな不規則動詞の直説法線過去。曜日用減の用いられ方。現在進行形の作り方。第13課Dialogo。 【事前学習】 第13課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～13課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第14回 第14課：形容詞・副詞の比較級（1）。 優等比較級、劣等比較級、同等比較級。 【事前学習】 第14課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～14課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第15回 第14課：形容詞・副詞の比較級（2）。副詞。 形容詞の比較級（不規則形）。副詞の不規則形、-menteの副詞、所有代名詞。第14課Dialogo。 【事前学習】 第14課の文法事項に目を通しておく。 【事後学習】 第1～14課の文法・文意を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行うこと。語句の書き取り練習も行うこと。</p> <p>第16回 期末試験。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【 】</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 【 】</p> <p>3) ICTの活用 【 】</p> <p>4) 初年次教育 【 】</p>
テキスト	『基礎から学ぼう！スペイン語 初級』西川喬著、朝日出版社。
参考書	西和辞典など
評価方法	中間試験、期末試験80%。従業参加度・発表20%。
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) — ：試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【D P 1～4との関連】</p> <p>.. 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>.. 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>.. 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	相互（学生⇄教師、学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 (仮) 毎週**曜日 **限目 武村研究室
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： コンピュータ演習

授業コード：

英文科目名称： Basic Computing

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	1年次	2単位(0-2)	大学共通科目
担当教員			
照屋信治・武村朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：CMS170		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 大学生活また社会人として仕事をする上で必要とされる、PCの基本的操作技能、並びに情報リテラシーの習得。</p> <p>【到達目標】 ①認知的領域：大学生活または社会人として仕事をする上で必要とされるPCの基本的操作ができるようになる。PCの基本的な各種設定ができる。 ②技術表現的領域：ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の加工・分析ができる。 ③情意的領域：パワーポイントの効果的な使い方を習得し、人前で自信をもってプレゼンできる態度を身につける。</p>
授業の概要	<p>PCの基本的な各種設定の方法を学ぶとともに、ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の数値情報の加工・分析の方法、パワーポイントの効果的な使い方等を、実践的に習得する。また、基礎的なデータベースの活用方法など情報リテラシーを身につける。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：オリエンテーション：(1) パソコン活用の概要 (2) 各種基本設定 大学及び職場で求められるパソコン技能についての概要、並びに基本設定。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第2回 (1) Windowsの基本操作 (2) インターネット システムの設定、アプリケーションのインストール、デバイスの接続の方法。インターネット活用上の留意点と、セキュリティー等。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第3回 Word2016 (1) : Wordの基本操作、文章の作成保存 初歩的な文章作成をワードで行い、その基礎を身につける。ローマ字入力、ブラインドタッチ等。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第4回 Word2016 (2) : 文章のレイアウト マージンやタブの設定など、文章作成の基礎となるレイアウトの構成を学ぶ。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第5回 Word2007 (3) : 書式の応用 ワードに備わった様々な書式の活用方法について学ぶ。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第6回 Word2016 (4) : 表示能力を高める、オブジェクトの挿入 単なる文章だけでなく他のメディアを導入したワードの活用方法を取得する。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第7回 Excel2016 (1) : 基本操作、一覧表の作成 エクセルの基本的検索方法について学ぶ。初歩的な表の作成を通してエクセルの仕組みを理解する。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第8回 Excel2016 (2) : グラフの作成、グラフのデザインおよびレイアウト 関数計算、表及びグラフの作成。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第9回 Excel2016 (3) : グラフのデザインとレイアウト 課題を通して実際に自分なりのグラフを作成し、個性を生かした作品作りを計画する。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第10回 Excel2016 : ①グラフのレイアウト グラフ作成を完成させ、課題として提出する。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第11回 PowerPoint2016 (1) : プレゼンテーションとは パワーポイントの基礎を学ぶ。またプレゼンテーションにおいて大切なことを理解する。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p> <p>第12回 PowerPoint (2) : プレゼンテーション資料の作成 プレゼンテーション資料の作成を通して必要な技能を身につける。 【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。</p>

第13回	<p>【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。 PowerPoint (3) : プレゼンテーションの実践 作成したプレゼンテーションを実演することで、パワーポイントの操作のみならず、効果的なプレゼンテーション技能を实践する。</p> <p>【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p>
第14回	<p>Word2016 (5) : 様々な活用法 文書作成を超えたワードの様々な活用方法について学ぶ。</p> <p>【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p>
第15回	<p>メディアリテラシー PCを利用する上で必要な情報倫理について学ぶ。</p> <p>【事前学習】 テキスト内の関連個所に目を通しておく。 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。</p>
第16回	なし。
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 { }</p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 { }</p> <p>3) ICTの活用 { }</p> <p>4) 初年次教育 { }</p>
テキスト	『できるWord & Excel 2016』、『はじめてのPowerPoint 2016』
参考書	特になし
評価方法	課題の提出70% 授業でのプレゼンテーションなどへの参加度及び授業に臨む姿勢30%
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - : 試験欠席・レポート未提出・出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【DP 1～4との関連】</p> <p>.. 1 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること</p> <p>○ 2 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること</p> <p>.. 3 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること</p> <p>.. 4 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること</p>
履修上の注意	USBメモリーを準備すること
オフィスアワー	照屋信治： 毎週**曜日 **限目 事前にメールで予約してください。 メールアドレス：makoto@oc.jc.ac.jp 武村朝吉： (仮) 授業終了後、教室で質問を受付けます。
課題に対するフィードバック方法	課題は評価後に希望に応じて返却します。